

平成 22 年度「認知症地域支援体制構築等推進事業」事業計画
(モデル地域における地域支援体制構築事業)

市町名 いなべ市

所属 長寿介護課

担当者名 二之部 陽一

電話番号 0594-78-3518

FAX 番号 0594-78-1114

E-MAIL y-ninobe00@city.inabe.mie.jp

1. 事業目的

地域において、認知症高齢者等と家族を支えるためには、認知症への対応（予防、早期発見、ケア等）を行なうマンパワーや拠点などの地域資源をネットワーク化し、相互に連携しながら有効な支援を行なう体制を構築する必要があることから、いなべ市をモデル地域として、先駆的に支援体制を構築する。

2. 事業内容

(1) エリアの考え方および特徴

いなべ市は平成 15 年度に員弁群の 4 町が合併した市である。合併前より員弁群としてのひとつのまとまりをもって、人々の交流等が行なわれた地域であるが、旧行政区であった町単位が日常生活圏域であり、この圏域内を中心として各町で特徴ある人々の生活が営まれている。藤原町および北勢町は高齢化率も大安町および員弁町からみて高く、集落も山間部に点在している箇所があり交通の利便性の悪い地域でもある。さらに視点を小学校区単位に置いてみると、それぞれが特徴を持っている。

そこで、基本的な地域支援体制構築は全市的に考えるが、それだけでは不十分で、認知症高齢者等と家族を支えるためには、地域に密着する必要がある、子どもの頃からのなじみの地域である小学校区を単位として支援体制を構築することも伏線として考えることとする。

(2) コーディネーターの選定方針・選定状況

業務を遂行できる次の条件を満たすものを選定する。

- ・ 現に認知症の本人やその家族に対するサービスの提供を支援している者
- ・ モデル地域内における認知症ケアのニーズや事業所の状況を熟知している者
- ・ コーディネーターは高齢者相談業務経験のある社会福祉主事をもって充て、地域包括支援センターと緊密な連携ができるように地域包括支援センターに配置する。また、市各部および社会福祉協議会等の関係機関と協働して業務を遂行できるようにワーキングチームを構成し、コーディネーターを全面的にバックアップする。

(3) 地域資源マップの作成方針

認知症に優しい地域資源マップの作成にあたり、モデル地域（小学校区単位）を選定し、認知症高齢者の生活を支える視点から、学区内の地域資源（病院、福祉施設、店舗等）を掲載する地域版を作成する。

(4) 地域支援体制推進事業の実施方針

- ・ 認知症ケア等のサポートとして、以下の事業を実施する。
 - 介護サービス事業所支援
 - 連携のための各職種別会議の開催
 - 研修会の開催
 - 事例検討会の開催
 - 医療との連携体制構築
 - 個別支援から地域づくりを行なう。
 - 支援困難ケースの検討会、同行訪問等による介護支援専門員等への後方支援

- ・ 徘徊 SOS ネットワークを以下のように構築する。
 - 徘徊による行方不明による事故の防止のため、関係機関・団体・市民がネットワークを構築し、情報の共有により行方不明者の早期発見・保護を図る。
 - 徘徊による行方不明になるリスクの高い認知症高齢者を家族申請に基づき事前登録し、警察等関係機関に予め情報提供し、行方不明事故を防止する。

- ・ その他以下の事業を実施する。
 - ・ 見守りネットワークの構築の推進
 - ・ 認知症介護者支援（つどい、介護者教室の開催）
 - ・ 認知症フォーラムの開催
 - ・ キャラバン・メイト、フォロー研修
 - ・ 認知症サポーター養成講座の実施